



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和5年4月7日
学校だより 4月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子
電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



転機～新年度の始まりに寄せて～

校長 犬塚 真

うらかな春、いよいよ新年度の学校生活が始まります。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。



3月17日には124名の卒業生が凜として巣立っていきました。教職員については3月末をもって12名が離任、退任となりました。本校在職中にはたいへんお世話になりました。皆様に直接ご挨拶を申し上げる機会がもてませんでした。この場をお借りして、あらためて御礼申し上げます。

今年度の着任者並びに、教職員組織につきましては裏面をご覧ください（ホームページ版を除く）。新入生、転入生、着任教職員との新たな出会いを通して、子どもたちの学校生活が一層充実することを願っています。

先日、久しぶりに家の近くをマスク無しで歩いてみました。少しむずむずする花粉と格闘しながらではありましたが、なんともすがすがしく、また、久しぶりに感じた春の花々の香りが印象的でした。路上で行き交う人々の様子を見ると、マスクの有無は半々程度といったところでしたが、電車やバス、店舗の中では、ほとんどの人がマスクを着用している様子です。

既に皆様もご存じの通り、3月13日以降、屋内外を問わずマスクの着用は個人の判断が基本となる旨の通達が厚生労働省よりありました。これに伴い、学校でも新年度からは児童、保護者、教職員に対し、原則としてマスクの着用を求めなくなります。

「顔の見える関係」という言葉がありますが、およそ3年間にわたり、顔の半分しか見えない関係が続いていました。この先マスクを外すことで、表情のニュアンスからお互いの心情がより伝わり合いやすくなることでしょう。これは子どもたちのコミュニケーション力の育ちにおいても大切なことだと思います。もちろん、マスクの脱着については個人の意思や諸事情を尊重していきます。

また、今年度はいよいよ新校舎が完成し、夏休み明けの8月28日からは真新しい校舎での学校生活が始まります。念願の体育館も以前より大きくなって戻ってきます。体育の学習だけでなく、様々な交流の場としても利用することができ、活動の広がりがとても楽しみです。

ぜひ、これらの転機を子どもたちのさらなる成長につなげていきたいと考えています。本年度も温かいご支援とご理解を何卒よろしくお願い申し上げます。

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

- 互いを尊重しながら伝え合い、学びをつなげて物事を深く考える子どもを育てます。
- 自分を見つめ自分の良さに気づき、他者を思いやり、共によりよく生きる子どもを育てます。
- 自他の生命と体を大切に、自ら健やかな体をつくる子どもを育てます。
- 自分らしい夢を持ち、地域や社会のために自分ができるところを考え行動し続ける子どもを育てます。
- 自他の違いを受け止めながらコミュニケーションを図り、共に分かり合おうとする子どもを育てます。